第3期総合戦略数値目標及びKPI評価書

数値目標及びKPI評価書まとめ（令和7年～令和11年）	年 R7	担当班
戦略全体を貫く目標「人口の自然減の鈍化及び社会増減の均衡」		
人口の社会増減	A	保険窓口
人口の自然増減	A	保険窓口
1　地域資源を活用し安定した雇用を創出する		
林業の振興	A	産業振興
原木増産体制の強化と森林資源循環利用の適切な実行	B	産業振興
林業担い手育成対策・小規模林業の推進	A	産業振興
森林の有する多面的機能の発揮	A	産業振興
農業の振興	A	産業振興
（株）大豊ゆとりファームの充実	A	産業振興
基幹成長作物（薬草）の生産量の拡大と産地化・高付加価値化	B	産業振興
基幹成長作物（ミニトマト）の生産量の拡大と産地化・高付加価値化	A	産業振興
鳥獣被害対策の推進	A	産業振興
地域産業の維持	A	まちづくり
新たな産業、雇用の創出	A	まちづくり
おおとよ宅配サービスの維持	A	まちづくり
2　新しい人の流れをつくり定住につなげる		
新たな住環境の整備	B	まちづくり
中間管理住宅の整備	A	まちづくり
空き家を活用した住宅の確保	A	まちづくり
新築住宅及びリフォーム住宅の整備促進		まちづくり
移住の促進	B	まちづくり
移住相談体制の充実	A	まちづくり
移住プロモーションの強化	A	まちづくり
お試し住宅の利用促進		まちづくり
交流人口の拡大	A	まちづくり
交流イベントの実施	A	まちづくり
地域イベントへの支援	A	まちづくり

数値目標及びKPI評価書まとめ（令和7年～令和11年）	年 R7	担当班
3　安心して子育てができる環境を充実する		
妊娠・出産への不安解消	B	保険窓口
妊婦一般健診への支援	A	健康づくり
産前産後ﾍﾙﾊﾟｰ派遣事業の促進	B	健康づくり
産後ケア事業の利用促進	A	健康づくり
子育て・学び・修学等への支援の充実	C	企画
高校等通学の応援	A	人づくり
大学等修学の応援	A	人づくり
若者への支援	－	人づくり
特色ある教育環境の充実	A	人づくり
学校教育目標「一人一人の可能性を伸ばし、自己と未来を創造する力を育む」の達成	A	人づくり
大豊型英語教育の推進	B	人づくり
学校外教育の推進	A	人づくり
4　いつまでも暮らせる元気な集落を再生し地域の暮らしを守る		
健康寿命の延伸	A	介護保険
あったかふれあいセンター事業の利用促進	B	福祉
がん検診受診の促進	B	健康づくり
がん検診精密検査受診の促進	A	健康づくり
フレイル予防活動の推進	A	包括支援
高齢者への訪問と相談対応の充実	A	包括支援
生活環境及び自然災害に強い地域づくり	A	総務防災
合併浄化槽の普及促進	A	環境水道
耐震化の普及促進	A	環境水道
危険家屋除却の促進	A	環境水道
水道施設の整備	A	環境水道
消防・防災機能強化	A	総務防災
交通安全、防犯対策の推進	A	総務防災
みんなで支える郷づくり事業の促進	A	総務防災

評価の判定方法

評価の達成度合（％）で判定するものとする。

達成度合（％）＝（当該年度実績値）÷（当該年度目標値）×100

達成度合の数値により、A、B、Cの３段階で評価する。

Aランク：90％以上、Bランク：50％以上90％未満、Cランク：50％未満

【要因分析について】
Bランク以下の項目に該当する指標は、その内部要因や次期目標への反映の方向性を示した要因分析を行うものとする。

第３期総合戦略　全体を貫く目標

戦略全体を貫く目標	人口の自然減の鈍化及び社会増減の均衡						
数値目標①	人口の社会増減 <人>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		-31	-26 A				
	（達成度合）		91.7%				
	年度ごとの目標値		-24	-17	-10	-3	0
数値目標②	人口の自然増減 <人>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		-87	-76 A				
	（達成度合）		105.0%				
	年度ごとの目標値		-80	-75	-70	-65	-60

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標１	地域資源を活用し安定した雇用を創出する
政策の基本的方向	◆林業 ・林業・木材産業の成長産業化、嶺北地域の林業クラスター による地域経済の活性化に向けて、森林環境譲与税を活用した新事業地の確保により、森林整備を加速させるとともに、原木増産による域内での木材加工施設等へ流通させる取組を推進します。 さらに、林業従事者の雇用の増大と施業による森林所有者の収益アップを目指すとともに、未整備森林を適切に管理するために森林環境譲与税の活用による施業の実施と小規模林業（自伐型林業を含む）などの小さな林業を推進し、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させることを目指します。 山村の住民が協力しあい、山林の保全管理や森林資源の循環利用により、次世代に継承する豊かな森づくりを推進します。
施策（柱２）	活力おおとよ
戦略目標①	林業の振興

林業従事者の増大 ＜人＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	69	79 A				
（達成度合）		111.3%				
年度ごとの目標値		71	73	75	77	79

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①　原木増産体制の強化と森林資源循環利用の適切な実行

重要業績評価指標

町内の素材生産量 ＜万㎥＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	3.6	3.3 B				
（達成度合）		89.2%				
年度ごとの目標値		3.7	3.8	3.9	4.0	4.1

一部の事業体において、職員の離職等の影響で施業が計画通り進まなかったため

②　林業担い手育成対策・小規模林業の推進

重要業績評価指標

自伐林家数 ＜人＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	28	34 A				
（達成度合）		113.3%				
年度ごとの目標値		30	32	34	36	38

③　森林の有する多面的機能の発揮

重要業績評価指標

森林間伐面積 ＜ha＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	55.0	53.5 A				
（達成度合）		95.5%				
年度ごとの目標値		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0

担当部局名	大豊町 【産業建設課】	評価・検証 実施時期	令和８年６月

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標１	地域資源を活用し安定した雇用を創出する
政策の基本的方向	◆農業 ・本町の厳しい気候や自然条件の中でも、地域の特性を活かした夏秋栽培などの農業生産を展開し、生産性が高く利益の上がりやすい農業の実現と産地化、農業所得の向上に取り組みます。 また、農業だけでの経営が困難となる中でも、半農半X（兼業農家）等の小さな農業を推進し、他産業との連携を図り、農産物の高付加価値化、高収益化、低コスト化や生産基盤整備などソフト面、ハード面双方から支援を行います。 これらの取組を行い、農業、農村の有する多面的機能の発揮、環境との共生、山村らしい暮らしの維持に寄与する農業を振興していくとともに、大豊ゆとりファームや認定農業者等の担い手を核として、集落環境を守り山間農業を維持していきます。
施策（柱２）	活力おおとよ
戦略目標②	農業の振興

農用地面積の維持（地域計画における）<ha>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	276.8	287.9 A				
（達成度合）		104.0%				
年度ごとの目標値		276.9	277.0	277.1	277.2	277.3

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①　（株）大豊ゆとりファームの充実

重要業績評価指標

農作業の受託面積<ha>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	16.8	18.7 A				
（達成度合）		110.0%				
年度ごとの目標値		17.0	17.2	17.4	17.6	17.8

②　基幹成長作物（薬草）の生産量の拡大と産地化・高付加価値化

重要業績評価指標

薬草の生産量<kg>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	5,864	3,460 B				
（達成度合）		58.6%				
年度ごとの目標値		5,900	5,950	6,000	6,050	6,100

昨年度は、裏年で不作になり目標を下回った。肥培管理技術を向上を図り、生産量の確保に努める。

③　基幹成長作物（ミニトマト）の生産量の拡大と産地化・高付加価値化

重要業績評価指標

ミニトマトの生産量<kg>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	12,366	14,136 A				
（達成度合）		108.7%				
年度ごとの目標値		13,000	14,000	15,000	16,000	17,000

④	鳥獣被害対策の推進						
重要業績評価指標	鳥獣捕獲数(維持) <シカ、イノシシ、サル> <頭>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		2,576	2,499 A				
	（達成度合）		96.1%				
	年度ごとの目標値		2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
担当部局名	大豊町 【産業建設課】		評価・検証 実施時期		令和８年６月		

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標１	地域資源を活用し安定した雇用を創出する						
政策の基本的方向	◆商工業 ・商圏が消滅したともいわれる町内商業、超高齢社会における日常生活物資確保の困難性など地域の特殊な現状の上に立って、町内消費を奨励するなど、地域における商業機能の維持、充実に努めるとともに、雇用の場の確保、地域資源の活用などによる地域経済の活性化に向け、地域資源活用型の企業導入を積極的に進めます。						
施策（柱２）	活力おおとよ						
戦略目標③	地域産業の維持						
	商工会登録数の維持 <件>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		117	118 A				
	（達成度合）		98.3%				
	年度ごとの目標値		120	120	120	120	120
具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）							
①	新たな産業、雇用の創出						
重要業績評価指標	地域おこし協力隊の雇用数 <人>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		2	4 A				
	（達成度合）		200.0%				
	年度ごとの目標値		2	2	2	3	3
②	おおとよ宅配サービスの維持						
重要業績評価指標	宅配サービスの利用件数 <件>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		971	924 A				
	（達成度合）		92.4%				
	年度ごとの目標値		1,000	1,000	1,000	1,100	1,100
担当部局名	大豊町 【企画創造課】		評価・検証 実施時期		令和８年６月		

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標２	新しい人の流れをつくり定住につなげる
政策の基本的方向	◆住環境の整備 ・住宅の確保については、公共から民間へと移行する方向を目指しながら、老朽化した町営住宅の改修や建替えを計画的に推進します。また、超高齢社会における需要の動向にも配慮するなかで公営住宅の今後の管理の在り方について検討するとともに、空き家の有効活用など、定住対策としての住宅の確保について積極的に取り組みます。 ・移住者は年々増えているが「使える空き家」は少ないため、住宅の確保対策として利用可能な空き家の掘り起し、また、空き家改修補助金の積極的な活用を進めていきます。
施策（柱１・柱4）	暮らそうおおとよ・おいでよおおとよ

戦略目標①：新たな住環境の整備

空き家の確保 <件>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	39	27 B				
（達成度合）		67.5%				
年度ごとの目標値		40	45	50	55	60

需用に答えれる物件が少ない。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 中間管理住宅の整備

重要業績評価指標

中間管理住宅の整備数 <軒>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	0	2 A				
（達成度合）		100.0%				
年度ごとの目標値		2	3	4	4	4

② 空き家を活用した住宅の確保

重要業績評価指標

空家活用補助金の申請数 <件>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	6	11 A				
（達成度合）		91.7%				
年度ごとの目標値		12	14	16	18	20

③ 新築住宅及びリフォーム住宅の整備促進

重要業績評価指標

移住定住支援事業の申請数 <件>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
（達成度合）						
年度ごとの目標値			5	5	6	6

※R8開始予定事業

担当部局名	大豊町 【企画創造課・住民生活課】	評価・検証 実施時期	令和８年６月

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標２	新しい人の流れをつくり定住につなげる
政策の基本的方向	◆移住・定住 ・移住希望者の様々なニーズに対応した住環境の整備や働き方・暮らし方への支援を充実するため、「住める」から「住みたい」と思える住宅環境整備及び空き家の有効活用、定住向けの住宅への支援、就業支援、集落を中心としたコミュニティ活動への支援等により、移住・定住対策を推進していきます。
施策（柱１・柱4）	暮らそうおおとよ・おいでよおおとよ

戦略目標②

移住の促進

	基準値	実績値				
移住者の増加 <人>	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	58	53 B				
（達成度合）		88.3%				
年度ごとの目標値		60	65	70	75	80

ニーズに答えれる物件が少なかったため。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 移住相談体制の充実

重要業績評価指標

	基準値	実績値				
移住相談件数 <件>	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	55	103 A				
（達成度合）		171.7%				
年度ごとの目標値		60	70	90	100	100

② 移住プロモーションの強化

重要業績評価指標

	基準値	実績値				
移住ホームページ閲覧数 <PV>	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	18,922	23,128 A				
（達成度合）		115.6%				
年度ごとの目標値		20,000	23,000	25,000	26,000	27,000

③ お試し住宅の利用促進

重要業績評価指標

	基準値	実績値				
お試し住宅の利用日数 <日>	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
（達成度合）						
年度ごとの目標値			90	120	150	180

令和７年度に整備完了。令和８年度中に受け入れ開始予定。

担当部局名	大豊町 【企画創造課】	評価・検証 実施時期	令和８年６月

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標２	新しい人の流れをつくり定住につなげる						
政策の基本的方向	◆観光 ・「おおとよ」の魅力をあらゆる手段で情報発信するとともに、観光・交流機会の創出により、交流人口の拡大、関係人口の確保、拠点観光施設を軸とした交流促進を目指します。 さらに、雄大な自然の中で、都市部の人にとっては非日常で魅力的な山の暮らしやアウトドア体験、文化体験、ものづくりなどを通じた活動を推進し、協働の森事業など企業と連携した都市との交流の活発化を進めます。 また、若い後継者の育成を目指して、山村の環境を活かした生活スタイルの構築に向けた支援など、地域の次代を託す若者の定着を進めるとともに、地域主体のイベント等の取組を充実させ、観光・交流から地域の活力再生を進めます。						
施策（柱４）	おいでよおおとよ						
戦略目標③	交流人口の拡大						
	拠点施設利用者の増加 ＜人＞	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		64,240	92,906 A				
	（達成度合）		123.9%				
	年度ごとの目標値		75,000	85,000	95,000	105,000	115,000
具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）							
①	交流イベントの実施						
重要業績評価指標	遊休施設を活用したイベント ＜回＞	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		1	2 A				
	（達成度合）		100.0%				
	年度ごとの目標値		2	2	2	3	3
②	地域イベントへの支援						
重要業績評価指標	イベント補助金申請及び後援・共催依頼の件数 ＜件＞	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		9	15 A				
	（達成度合）		150.0%				
	年度ごとの目標値		10	10	12	12	12
担当部局名	大豊町 【企画創造課】		評価・検証 実施時期		令和８年６月		

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標３	安心して子育てができる環境を充実する
政策の基本的方向	◆子育て ・地域における保健福祉と教育の連携を密にし、地域の将来を託す子どもたちの子育て支援を行います。また、子どもたちの子育て環境の充実に向けて、子どもの数が減少する地域の現実の上に立った施設の整備、保育サービスの質的向上充実を図るとともに、子どもたちの医療、地域における子育て環境の整備など、子どもたちの健やかな成長を積極的に支援します。
施策（柱５）	つなごうおおとよ

戦略目標①：妊娠・出産への不安解消

	基準値	実績値				
出生数の増加 ＜人＞	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	4	5 B				
（達成度合）		62.5%				
年度ごとの目標値		8	8	9	9	9

本町の子育て支援については、妊娠・出産から大学卒業まで充実している。一方でそれらが直接的に出生数の増加につながるものではないが、県の人口減少対策総合交付金を活用して、移住による若年層の確保も含めて、長期的な目線で効果的な取組を引き続き検討していく。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 妊婦一般健診への支援

重要業績評価指標

	基準値	実績値				
妊婦検診時の交通費助成率 ＜%＞	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		100.0 A				
（達成度合）		100.0%				
年度ごとの目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 産前産後ﾍﾙﾊﾟｰ派遣事業の促進

重要業績評価指標

	基準値	実績値				
産前産後ﾍﾙﾊﾟｰ派遣事業の利用率 ＜%＞	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	0	5.9 B				
（達成度合）		59.0%				
年度ごとの目標値		10.0	20.0	30.0	40.0	50.0

ヘルパー利用を勧め、申請書は出たが、産前、産後とも利用まで至っていない人かいたため。

③ 産後ケア事業の利用促進

重要業績評価指標

	基準値	実績値				
産後ケア事業の利用率 ＜%＞	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	33.3	40.0 A				
（達成度合）		100.0%				
年度ごとの目標値		40.0	42.0	44.0	46.0	48.0

担当部局名	大豊町 【住民生活課・地域福祉課】	評価・検証 実施時期	令和８年６月

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標３	安心して子育てができる環境を充実する
政策の基本的方向	◆就学・修学支援 ・保護者等の経済的負担を軽減するための事業の継続・充実を図り、本町で育った子どもたちが自らの夢を実現できるよう、義務教育終了後から社会的自立に至るまでの就学等、切れ目のない支援の充実と推進に努めます。
施策（柱５）	つなごうおおとよ

戦略目標②：子育て・学び・修学等への支援の充実

34歳以下の人口の維持（対前年比）＜人＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	-29	-20 C				
（達成度合）		-85.7%				
年度ごとの目標値		-7	-6	-1	3	5

住居の確保や子育て支援など積極的に取り組んでおり、移住相談件数が増加などの効果は一定見られるが目標達成には至っていない。今後においても、県の人口減少対策総合交付金を活用して、定住促進対策や移住による若年層の確保について、長期的な目線で効果的な取組を引き続き検討していく。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 高校等通学の応援

重要業績評価指標

高校等通学応援金の給付状況＜%＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		100.0 A				
（達成度合）		100.0%				
年度ごとの目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 大学等修学の応援

重要業績評価指標

大学等修学応援金の給付状況＜%＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		100.0 A				
（達成度合）		100.0%				
年度ごとの目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 若者への支援

重要業績評価指標

未来応援金の給付状況＜%＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		- -				
（達成度合）		-				
年度ごとの目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

令和７年度は対象者なし

担当部局名	大豊町 【教育委員会】	評価・検証 実施時期	令和８年６月

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標３	安心して子育てができる環境を充実する						
政策の基本的方向	◆学校教育 ・「かしこく、やさしく、たくましい」子どもの成長を願って、義務教育学校での9年間のゴールイメージに向けて「大豊らしい特色ある教育」、「子どもたちが夢中になれる学校づくり」、「子どもたちが夢のきっかけをつかむことのできる教育」を推進します。教育環境を更に充実し、子どもたちが「大豊で学んでよかった」、保護者が「大豊で子育てしてよかった」、町外の人たちから「大豊で子育てしたい」と言われる「おおとよ教育」を推進します。						
施策（柱５）	つなごうおおとよ						
戦略目標③	特色ある教育環境の充実						
	大豊を心に刻み未来の夢実現に向け自立・貢献できる人の育成（希望する進路に進めたか）<%>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		100.0	100.0 A				
	（達成度合）		100.0%				
	年度ごとの目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）							
①	学校教育目標「一人一人の可能性を伸ばし、自己と未来を創造する力を育む」の達成						
重要業績評価指標	重点目標の達成度（A（目標を上回った）、B（目標どおり）の割合）<%>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		83.3	88 A				
	（達成度合）		102.9%				
	年度ごとの目標値		85.0	87.0	89.0	91.0	93.0
②	大豊型英語教育の推進						
重要業績評価指標	英語検定の合格率（維持）<%>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		60.0	41.7 B				
	（達成度合）		69.5%				
	年度ごとの目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	学年ごとに成績に差が見られるが、毎年目標値を達成できるよう学園と連携して取り組む必要がある。						
③	学校外教育の推進						
重要業績評価指標	ゆとりすとチャレンジ塾の参加率（維持）<%>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		77.8	79.2 A				
	（達成度合）		99.0%				
	年度ごとの目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
担当部局名	大豊町 【教育委員会】		評価・検証実施時期		令和８年６月		

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標４	いつまでも暮らせる元気な集落を再生し地域の暮らしを守る
政策の基本的方向	◆健康 ・住民が生涯を通じて健康に暮らすことを目標に、ライフスタイルに応じた健康の維持、健康のために自らが主体的に取り組むことのできる生活環境、健康サービスの充実に向けた健康づくり支援体制を充実します。 ◆地域包括ケア ・誰もがその人らしく住み慣れた地域で安心して暮らせるように、世代や分野の垣根を越えた包括的な支援体制づくりを推進します。 ◆高齢者 ・高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって心豊かに過ごすことができるように、健康づくりや社会参加活動の取組を促進するとともに、高齢者福祉・介護保険サービスの充実、日常の見守りなど高齢者を支える仕組みづくりを推進します。 ◆集落コミュニティ ・誰もが希望を持って暮らし続けることのできる元気な地域を目指していくため、集落コミュニティを中心とする集落の維持・再生活動の取組を支援します。
施策（柱３）	健やかおおとよ

戦略目標①：健康寿命の延伸

介護保険新規申請の平均年齢の維持(元気な高齢者数の維持)＜歳＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	85.3	87.0 A				
（達成度合）		102.4%				
年度ごとの目標値		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①：あったかふれあいセンター事業の利用促進

重要業績評価指標

あったかふれあいセンター事業新規利用者数（維持）＜人＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	30	19 B				
（達成度合）		63.3%				
年度ごとの目標値		30	30	30	30	30

年間延利用者数は増加しているが、送迎が前提の利用になっていること、曜日ごとの受け入れ人数等、利用が限られるため、目標値に届かなかったと考えられる。あったかふれあいセンター事業の充実を図り、集落支援員等より声掛けを行っていく。

②：がん検診受診の促進

重要業績評価指標

がん検診受診率＜%＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	18.6	16.0 B				
（達成度合）		84.2%				
年度ごとの目標値		19.0	20.0	21.0	22.0	23.0

全体的にがん検診の受診者数が少なかった。受診勧奨が必要。

③：がん検診精密検査受診の促進

重要業績評価指標

がん検診精密検査受診率＜%＞	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	72.2	91.4 A				
（達成度合）		91.4%				
年度ごとの目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

④	フレイル予防活動の推進						
重要業績評価指標	後期高齢者に占めるフレイルサポーターの割合 ※目標は後期高齢者の10% <%>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		全体6.4% 女6.3% 男6.6%	7.4 A				
	（達成度合）		106.0%				
	年度ごとの目標値		7.0	8.0	9.0	10.0	10.0
⑤	高齢者への訪問と相談対応の充実						
重要業績評価指標	集落支援員等による高齢者訪問回数 <件>	基準値	実績値				
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		2,843	2,938 A				
	（達成度合）		103.1%				
	年度ごとの目標値		2,850	2,850	2,900	2,900	2,900
担当部局名	大豊町 【地域福祉課】		評価・検証 実施時期		令和８年６月		

第３期総合戦略数値目標及びKPI評価書

基本目標４	いつまでも暮らせる元気な集落を再生し地域の暮らしを守る
政策の基本的方向	◆社会資本 ・生活に密着する社会資本の整備を進めるため、生活直結道路網の改良及び維持管理、国、県事業による地すべり対策、砂防対策など防災施設の整備、河川の整備を進めます。また、簡易水道事業の適切な管理・運営を行い、森林の荒廃などにより生活用水の確保に困窮する地域における飲料水供給施設、「住める」から「住みたい」と思える住宅環境整備、公共交通の確保など、地域特性に対応した生活に密着する社会資本の整備を更に進めます。 ◆防災・防犯 ・発生確率が高くなった南海トラフ巨大地震の脅威に対応するため、消防団及び自主防災組織と連携し、自助・共助・公助の更なる取組を推進するとともに、地球温暖化の影響による線状降水帯の発生や大型化する台風による被害を最小限にとどめるため、各集落及び自主防災組織との連携を強化し、3日以上孤立集落ゼロを目標に安全・安心で快適な日常生活の確保対策を推進します。 ◆情報化 ・情報環境の充実による魅力ある生活環境を実現するため、超高速ブロードバンド環境を活用した情報サービスの充実を更に推進するとともに、携帯電話の不感地域解消などに向けた取組を推進し、高度情報化に対応した情報環境の整備を通じて、若者に魅力ある生活空間の実現に取り組みます。
施策（柱４）	おいでよおおとよ
戦略目標②	生活環境及び自然災害に強い地域づくり

３日以上孤立集落ゼロ <集落>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	0	0 A				
（達成度合）		100.0%				
年度ごとの目標値		0	0	0	0	0

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①　合併浄化槽の普及促進

重要業績評価指標

合併浄化槽の普及率 <%>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	48.4	52.5 A				
（達成度合）		102.9%				
年度ごとの目標値		51.0	53.0	55.0	57.0	59.0

②　耐震化の普及促進

重要業績評価指標

耐震診断件数（累計） <件>	基準値	実績値				
	令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
	191	233 A				
（達成度合）		105.9%				
年度ごとの目標値		220	250	280	310	340

③	危険家屋除却の促進							
重要業績評価指標	危険家屋除却軒数（累計）<軒>	基準値	実績値					
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		12	16 A				
	（達成度合）		106.7%				
	年度ごとの目標値		15	18	21	24	27

④	水道施設の整備							
重要業績評価指標	水道の有収率<%>	基準値	実績値					
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		34.3	32.7 A				
	（達成度合）		92.6%				
	年度ごとの目標値		35.3	36.3	37.3	38.3	39.3

⑤	消防・防災機能強化							
重要業績評価指標	消防団員数（維持）<人>	基準値	実績値					
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		196	191 A				
	（達成度合）		100.5%				
	年度ごとの目標値		190	190	190	190	190

⑥	交通安全、防犯対策の推進							
重要業績評価指標	カーブミラー、ガードレールの設置数<ヶ所>	基準値	実績値					
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		6	11 A				
	（達成度合）		183.3%				
	年度ごとの目標値		6	6	6	6	6

⑦	みんなで支える郷づくり事業の促進							
重要業績評価指標	みんなで支える郷づくり事業補助金の活用集落数（維持）<集落>	基準値	実績値					
		令和６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
		75	72 A				
	（達成度合）		96.0%				
	年度ごとの目標値		75	75	75	75	75

担当部局名	大豊町 【総務課・住民生活課】	評価・検証 実施時期	令和８年６月